

令和5年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市浦和西体育館
(2)施設概要	①所在地 さいたま市桜区大字下大久保1676-1 ②施設の設置目的 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図る。 ③施設の概要 昭和55年5月1日開館 敷地面積 5,704.84㎡ 建物面積 2,115.40㎡ 競技場、トレーニング室、卓球室、多目的室 他
(3)指定管理者	埼玉シミズ・レッズランド共同事業体
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日 ②指定管理料 令和3年度:46,236千円、令和4年度:44,141千円、令和5年度:44,080千円
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況(括弧内は前年度の数値) 【利用件数】 35,162件 (31,395件) 【利用人数】 67,198人 (73,913人) 【利用率】競技場: 91.4%(92.9%)、多目的室: 90.8%(87.8%) ◇業務実施状況 利用者登録及び申込み受付業務(施設の利用許可) 公共施設予約システムによる貸出し管理 事業計画書に基づく業務(市民スポーツの普及・支援・指導など) ②維持管理業務の状況 ・施設管理業務(清掃等) 毎日 ・消防設備点検 年2回 ・ルーフファン設備保守点検業務 年1回 ・自家用電気工作物保守管理業務 年6回 ・自動ドア保守点検業務 年2回 ・館内クリーンケア業務 週1回 ・機械警備業務 毎日 ・建築物定期調査業務 年1回 ・建築設備定期検査業務 年1回 ・体育器具及びトレーニング機器保守点検業務 年2回 ・ネズミ、害虫防除管理業務 年2回 ・事業系一般廃棄物収集運搬処理業務 週1回 ・産業廃棄物収集運搬処理業務 年1回等

	③その他(自主事業等) スポーツ教室(キッズ体操教室、シニア卓球教室、女子サッカー教室、ヨガエクササイズ、ジュニア新体操教室、メンズヨガ、かけっこ教室、健康体操教室、ふらば〜る大会、スポーツ吹き矢体験会等)の開催
(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入 5,920千円(前年度 5,737千円) ・指定管理料 44,080千円(前年度 44,141千円) ・その他収入 37千円(前年度 24千円) ②支出 ・人件費 25,786千円(前年度 26,845千円) ・事務費 9,227千円(前年度 7,610千円) ・施設管理費 15,221千円(前年度 18,252千円) 【自主事業】 ①収入 5,042千円(前年度 4,869千円) ②支出 4,306千円(前年度 4,336千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	令和5年10月10日～令和5年10月29日、令和6年3月10日～令和6年3月31日に利用者アンケートを実施。その他投書箱を設けて随時受け付けている。アンケートでの要望を受け、スミスマシンを導入した。
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
トレーニング機器の更新	令和6年3月に老朽化したスクワットラックを安全性の高いスミスマシンに更新した。
アメニティの充実や、誰もが使いやすい施設になるようユニバーサルサービス環境を整備してホスピタリティ向上を図る	令和5年6月に筆談ボード、7月に女子更衣室にドレッサー2台、8月にレンタル用車椅子を設置して、アメニティとユニバーサルサービスを向上させた。
利便性向上のため、トレーニング講習会を月10回以上開催する	トレーニングを行う利用者の安全とスポーツの実施しやすい環境づくりの為、トレーニング講習会を月10回以上開催し、令和5年度は139回の開催で新規のトレーニング室利用者層の拡大および利用マナーの向上につながった。
こども・障がい者・高齢者・女性を対象とした新規の教室やイベントを開催し、新たなスポーツ実施の機会の創出を図る	新規のイベント・教室として令和5年11月に多世代を対象としたふらば〜る大会、令和6年3月に高齢者を対象とした健康体操教室とスポーツ吹き矢体験会を実施して、新たなスポーツ実施の機会の創出を図った。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

- ・競技場は公共施設予約システムにより適正に管理。
- ・競技場、卓球室、会議室の当日空き状況をホームページ上に掲示し、利用促進に努めた。
- ・卓球室と会議室の当日分電話予約サービスを行い、利用者の利用促進および利便性向上に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため中止していたトレーニングベルトのレンタルを再開した。
- ・様々な利用者が理解しやすいように、英語表記やピクトグラムを用いた館内張り紙を増やした。
- ・多世代を対象としたふらば〜る大会や高齢者を対象とした健康体操教室、スポーツ吹き矢体験会を新たに開催し、新たなスポーツ実施の機会の創出を図った。
- ・老朽化していたスクワットラックをスミスマシンに更新し、利用者の満足度向上に努めた。

【経費の削減】

- ・シャワーに節水装置を取り付け節水に努めた。
- ・外灯の点灯タイマーを日の入りの時間に合うようにこまめに調整し、節電に努めた。
- ・使用していない場所の照明を消灯し、節電に努めた。
- ・女子更衣室に設置したドレッサーは職員の内製で行い経費を削減した。

【適正な管理運営の確保】

- ・1日3回の巡回点検により危険箇所等の早期発見、早期対応に努めた。
- ・トレーニング室へ1日4時間以上の人員の配置や巡回を行い、利用者の安全確保に努めた。
- ・月1回のスタッフミーティング等を通して職員間で問題点等を共有し、適正な管理運営に努めた。
- ・危機管理マニュアルによる各職員の役割対応の確認や消防訓練・職員研修などの実施により安全管理体制の確保に努めた。
- ・近年の酷暑に応じた熱中症対策として、利用者に対する注意喚起の徹底、熱中症警戒アラート発表時は案内掲示を行い周知した。また業務用扇風機やうちわの貸出や緑のカーテンを実施した。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

総合評価 (B)

1 個別評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

- ・熱中症対策として業務用扇風機やうちわの貸出や緑のカーテンを設置するなど、市民の安全利用を確保した。
- ・ふらば〜る大会や高齢者を対象とした健康体操教室、スポーツ吹き矢体験会など様々な市民がスポーツに親しむ機会を作り出し、スポーツ・レクリエーションの振興に寄与した。

【経費の削減】

- ・円滑で無駄のない予算執行を心がけ、シャワーに節水装置の取り付けや未使用施設の消灯を徹底するなどを行い、引き続き電気料金削減に努めた。

【適正な管理運営の確保】

- ・協定書等に従って業務を適切に履行し、施設点検等を行った。

2 総合評価

- ・当施設での指定管理者経験(平成18から令和4年度)がある者を含めた事業者であり、経験を生かした適正な施設管理が行われた。
- ・日常点検や防犯カメラの増設により、施設の安全性向上に努めた。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・利用者の安全確保、利用者の利便性の向上とサービス品質の向上
- ・利用者アンケートを踏まえた利用者の満足度の向上
- ・危機管理体制の再確認
- ・情報セキュリティ体制の再確認